

忘れ ない。

東日本大震災と救命・救援ルート確保、復旧への記録

東日本の被害を受けたのは日本全国、
東日本以外でも被害が確認され、太平洋沿岸の
被害が拡大した。

津を囲む一帯も早く
人命救助と高層ビル確保へ緊急対応、震災後、被災
地や避難所などを通じて被災者支援を
地方自治体は緊急対応の体制に突き進んだ。

この災害は、命の救済を促し、被災者や町
民に被災者への支援記録です。震災後、被災
地への思いが尽きず、大震災と被災地を
被災地支援の中心に、被災者支援記録です。
今回の被害を記録していきたくありません。
忘れぬべき災害、被災者の命を助けるため、
被災地への支援を記録していきたくありません。

国土交通省 東日本大震災復興支援部

地震発生、 津波襲来。

東日本大震災と被災地の状況

東日本大震災発生時刻
3月11日14時46分23.2秒
震源地 東北太平洋沖
震源の深さ 24km
最大震動 東北太平洋沖
最大震度 東北太平洋沖
最大津波高 東北太平洋沖

国土交通省 東日本大震災復興支援部

東日本太平洋沿岸 巨大津波襲来。

観測史上最大の津波が沿岸地域を襲った。

東日本大震災発生時刻
3月11日14時46分23.2秒
震源地 東北太平洋沖
震源の深さ 24km
最大震動 東北太平洋沖
最大震度 東北太平洋沖
最大津波高 東北太平洋沖

国土交通省 東日本大震災復興支援部

全壊 12万7,130戸 半壊 23万1,603戸

死者・行方不明者が2万人規模の未曾有の被災だった。

国土交通省 東日本大震災復興支援部

橋桁流出、 道路崩壊。

国道45号など、沿岸部の道路が寸断された。

国土交通省 東日本大震災復興支援部

港湾機能 停止。

港湾施設は破壊され、湾内には大量のがれきが漂着、散見した。

国土交通省 東日本大震災復興支援部

河川・海岸堤防、 決壊、流失。

仙台湾西部海岸の堤防や、多くの河川堤防が流失した。

国土交通省 東日本大震災復興支援部

一刻も早く。

救命救護ルート確保への記録

2011.3.17

37分後、緊急発進。

被災地からのライブ映像が、早期対応の判断材料に。

2011.3.17

支えに。

被災者や市町村への支援の記録

2011.3.17

4県31市町村へ派遣。

派遣された連絡要員が、即ち市町村をサポート。

2011.3.17

「くしの歯作戦」、決行。

命の道を作り開く、一刻を争う戦い。

2011.3.17

2日間で、11ルート確保。

がれきを整理し、浸差を直し、救命救護ルートを切り開いた。

2011.3.17

被災自治体に、通信機器を配備。

被災した市町村の連絡を衛星通信車などが確保。

2011.3.17

ヤミ屋のオヤジ。

所管に知られない、所収を越えた物資調達が行われた。

2011.3.17

堤防が、緊急輸送路に。

道路兼用河川堤防の復旧を最優先し、緊急物資輸送などが実現。

2011.3.17

ポンプ車投入、排水量500万m³。

統合空送とその問題にポンプ車を集中投入、早期に一部復旧へ。

2011.3.17

被災市町村のSOS HPで全国へ発信。

通信手段を失った市町村ホームページを復旧。

2011.3.17

捜索のため、24時間態勢で緊急排水。

行方不明者の捜索のため、日本ポンプ車12台出動。

2011.3.17

役割。

道路や堤防などの果たした役割の記録

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

「命の道」として機能。

子どもたちが帰を助けた、釜石市山田通路。



釜石市山田通路は、震災後、子どもたちが避難先へ通るための重要な道として機能しました。この道のおかげで、多くの子どもたちが安全に避難することができました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

復旧へ 急げ。

応急復旧への取り組み記録

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

出動、TEC-FORCE



2011年3月11日の震災発生後、TEC-FORCEが被災地に派遣され、緊急復旧作業に当たりました。このチームの活躍により、被災地の復旧が加速されました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

高速道路が防潮堤。



仙台市宮城野区では、高規格道路が防潮堤として機能し、津波の侵入を防ぎました。この防潮堤のおかげで、多くの建物が被害を受けずに済みました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

住民を守り、支えた堤防。



津波が押し寄せた瞬間、住民たちが堤防に集まり、津波の侵入を防ぎました。この堤防のおかげで、多くの住民が命を救われました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

落下した橋、仮橋により通行可能。



一日も早い交通確保へ、仮橋による応急復旧を実施。被災地の交通が回復し、物資の供給が確保されました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

河川1,195カ所、4カ月で緊急復旧。



被災した河川の緊急復旧作業が完了しました。これにより、被災地の水害リスクが軽減されました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

防波堤が津波高低減。



津波の高さを約1割低減した。防波堤の役割が、津波のエネルギーを吸収し、被害を軽減しました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

避難の駅となった、道の駅。



道の駅が避難の場として活用され、被災者に支援を提供しました。食料や飲料の配布、仮泊場所の提供が行われました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

海岸堤防19,970m、緊急復旧。



全宗 津波の危険がある中、19,970mの海岸堤防の緊急復旧工事を実施。被災地の海岸線が守られ、被害が軽減されました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

下水の早期復旧へ、専門技術者派遣。



直ちに支援体制をつくり、専門技術者を現地に派遣。被災地の下水処理施設が早期に復旧され、衛生リスクが軽減されました。

国土交通省 国土政策局 国土整備部 国土整備課

明日の ために。

震災の教訓これからに備えて

国土交通省 国土政策局 国土政策課

津波 でんでんこ。

明日のために。

いざという時、自主的な避難、自衛からの訓練、備えが大切。いざという時に、自主的な避難、自衛からの訓練、備えが大切。いざという時に、自主的な避難、自衛からの訓練、備えが大切。

避難経路の確保、避難場所の確保、避難経路の確保、避難場所の確保、避難経路の確保、避難場所の確保。

東北の元気へ 復興への道、始動。

明日のために。

復興へと導く「リーディングプロジェクト」が始まった。

リーディングプロジェクトの概要、復興への道、始動。

河川・海岸堤防の 本格復旧に着手。

明日のために。

宮城県の復興を、島根県から支える本格復旧工事。

本格復旧工事の進捗状況、河川・海岸堤防の復旧。

復興に向け、 河口部堤防を整備。

明日のために。

海岸堤防をまちづくりと一体とした河口部の堤防を整備。

河口部堤防整備の概要、復興に向けた取り組み。

子へ、孫へ 後世へ伝える。

明日のために。

地震と津波の恐ろしさを語り継ぎ、後世に伝えていきたい。

後世に伝えるための取り組み、震災の記憶を伝える。